

在シドニー総領事通信

第 44 回 コロナ後の世界に向けての日豪の新たな動き

令和 3 年（2021 年）7 月 9 日

日豪間の往来はいつから緩和されるのでしょうか。豪州では、6 月下旬以降、デルタ株ウイルスの感染発生・拡大により、多くの州で次々と外出制限令が導入されました。そのような状況のもと、豪州の国家内閣は 7 月 2 日の会合で、ワクチンの接種拡大を通じて国際的な往来をはじめとする規制を 4 段階で緩和する「新型コロナウイルス対策移行国家計画（National Plan to transition Australia' s COVID-19 Response）」の策定方針を発表しました。

日本では、7 月 23 日から東京オリンピック競技大会が始まります。世界中から続々と代表団が到着し、日本各地でキャンプ入りしています。日本では、安全に競技が開催できるよう、万全なコロナ対策を実施しています。また、ワクチンの接種も一日 100 万回の目標を達成し、全力で接種拡大を進めています。

日豪両国は、国内の対策のみならず、世界の新型コロナ対策にも大きく貢献しています。日本は 6 月 2 日に Gavi と共催で COVAX ワクチンサミット（AMC 増資首脳会合）を開催しました。7 月 2 日には第 9 回太平洋島サミットを日・ツバル両首相の共同議長のもとで開催し、新型コロナへの対応と回復を重点分野の一つとして取り上げました。豪州はいずれの場でも多大な貢献を表明しています。

ここシドニーでは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会で日本への関心が高まる機会を捉え、コロナ後の往来再開に向けて日豪協力・交流の機運を高めるべく、Japanaroo 2021 開催に向けての準備が進んでいます。

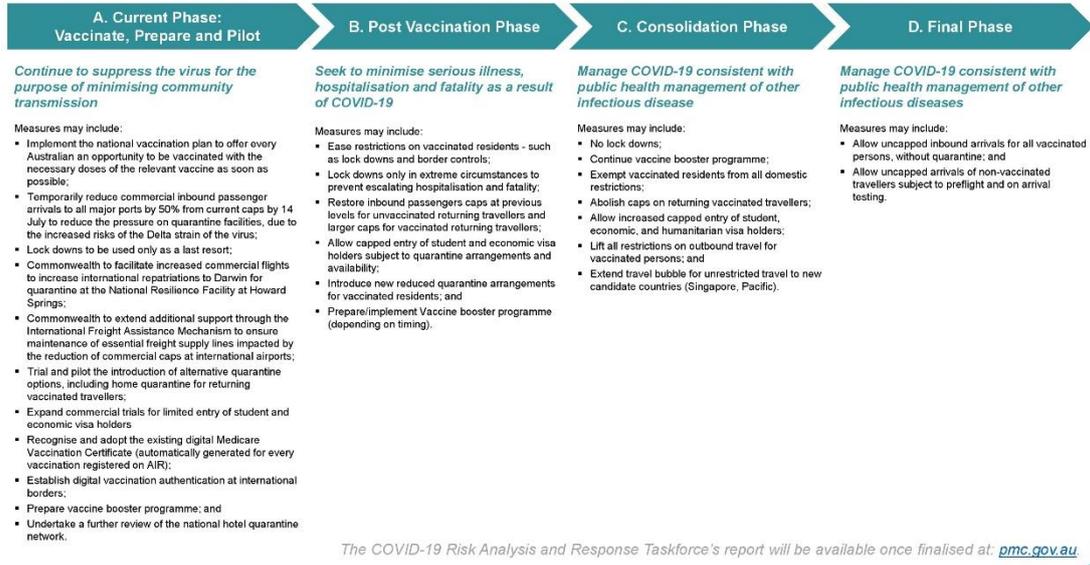
今回の総領事通信では、日豪両国がコロナ後の世界の発展に向けて進めている新たな取組をご紹介します。今後私たちが果たすべき役割について考えていきたいと思えます。



National Plan to transition Australia's National COVID-19 Response

National Cabinet agreed to formulate a national plan to transition Australia's National COVID-19 Response from its current pre vaccination settings, focussing on continued suppression of community transmission, to post vaccination settings focussed on prevention of serious illness, hospitalisation and fatality, and the public health management of other infectious diseases

Phases triggered by the achievement of vaccination thresholds expressed as a percentage of the eligible population (16+), based on the scientific modelling conducted for the COVID-19 Risk Analysis and Response Task Force



新型コロナウイルス対策移行国家計画 (2021年7月2日)

●新型コロナウイルス対策移行国家計画

7月2日、豪州政府の国家内閣は、市中感染の抑制に焦点を当てた現在の「ワクチン前」から、重症、入院、死亡の予防に焦点を当てた「ワクチン後」に豪州のコロナ対策を移行するために、「新型コロナウイルス対策移行国家計画」を策定することに合意しました。

国家計画はA～Dの4段階で構成され、各段階への移行は現在タスクフォースが行っている科学的モデリングに基づいて、ワクチン接種適性人口（16歳以上）のワクチン接種割合の達成で判断することになりました。

第一段階（現段階－ワクチン接種、準備及び試行）は、市中感染を最小限に抑えつつ、ワクチン接種を加速します。デルタ株ウイルスのリスク増による隔離施設への負担を軽減するため、入国者数の上限を一時的に50%削減します。ロックダウンは最後の手段としてのみ行います。学生及び経済ビザ保有者の限定的入国の商業的試行を拡大し、出入国時のデジタル・ワクチン接種認証を確立します。

第二段階（ワクチン後の段階）では、コロナ感染による重症、入院、死亡を最小限に抑えます。ワクチン接種者に対してロックダウンや州境制限を緩和し、ロックダウンは入院や死亡の拡大予防のための極めて限られた場合のみとします。ワクチン未接種の入国者数の上限を元に戻し、ワクチン接種済みの入国者の上限を引き上げます。隔離施設の確保を前提に学生及び経済ビザ保有者の入国を上限付きで認めます。

第三段階（統合段階）では、他の感染症の公衆衛生管理と同じように新型コロナを管理します。ロックダウンは行わず、ワクチン接種者を国内規制から免除し、ワクチン接種済の入国者数の上限と出国者への制限を撤廃します。学生及び経済ビザ保有者の入国者数の上限を引き上げ、新候補国（シンガポール、太平洋諸国）にトラベル・バブルを拡大します。

第四段階（最終段階）では、ワクチン接種者の入国者数は隔離なしで上限を撤廃し、ワクチン未接種者の入国者数は渡航前及び到着時の検査を条件に上限を撤廃します。

7月2日の国家内閣会合後の記者会見では、タスクフォースが行っている科学的モデリングに基づき、各段階に移行するためのワクチン接種割合を今月中に発表したいと述べています。そして、年内に豪州内の希望者全員にワクチン接種を終えるとの目標を提示しました。

6月下旬の一時期も含め、これまで各州政府がロックダウンや州境規制を頻繁に導入し、その判断基準が州により相当異なってきたこと、今後国境の早期再開が大きな課題となることを踏まえれば、今回、国家内閣でコロナ規制の基本方針に関する連邦政府と全州の意思統一ができたことは大きな進展だと思えます。そして、今後豪州でのワクチンの接種が着実に進み、ワクチン接種割合が増えれば、以上の四段階の移行が次々と進むこととなります。

今回の発表と、移行に必要なワクチン接種割合についての近日中の発表で、今後の日豪間の学生やビジネス関係者、更には観光客の往来再開・拡大に向けての準備が進むよう願っています。



ベレジクリアン NSW 州首相の記者会見
(2021 年 7 月 7 日、NSW 州保健省 Facebook)

●NSW 州と北部準州での外出制限令とロックダウン

シドニー大都市圏とその周辺では、デルタ株ウイルスの市中感染者拡大により、6月26日から7月16日まで3週間の外出制限令が実施されています。この間、ベレジクリアン NSW 州首相は週末も含め毎日記者会見に臨んでいます。ビジネスの重要性に十分配慮した上で、今回の外出制限令は例外的かつ不可欠なものであること、対象地域の居住者が外出制限など規制を遵守することで早期に制限を緩和できることなどを丁寧に説明しているのを見て、緊急時における戦略的コミュニケーションの重要性を改めて感じました。

また、北部準州でも、準州内での鉱山労働者のデルタ株ウイルス感染と各地への移動を受け、6月27日から7月2日までダーウィン大都市圏やアリススプリングス市で初めてロックダウンが実施され、その後も7月9日まで公共交通機関でのマスク着用義務などの規制が続いています。ガナー首席大臣も同様に連日記者会見に臨み、最新状況と各種規制の理由をわかりやすく丁寧に説明していました。

今後は、NSW 州でも北部準州でも、ワクチン接種の加速が大きな課題になります。当館では、両州でのワクチン接種に関する最新情報を領事メールで発出しました。在留邦人の皆様の参考になれば幸いです。

MINIMISE PHYSICAL INTERACTION

COVID-19 is transmitted through infected droplets in our breath exhaled by coughing, sneezing, talking, shouting or singing – and is passed from person to person when we are in close contact. The risks of catching COVID-19 grow in crowded, poorly-aired spaces and when we spend time in proximity to those who are infected with COVID-19. That is why it is important to minimise social interaction, wear a mask, and avoid the 3Cs: spaces that are confined/enclosed, crowded or involve close contact.

<p>#1</p> 	<p>Keep physical interactions with others to a minimum (and don't forget to wear your mask!)</p>	<p>#2</p> 	<p>Avoid physical contact, including hugs and handshakes</p>	<p>#3</p> 	<p>Keep two metres' distance from athletes and at least one metre from others, including in operational spaces</p>
<p>#4</p> 	<p>Avoid enclosed spaces and crowds where possible</p>	<p>#5</p> 	<p>Use dedicated Games vehicles. Do not use public transport unless it is the only option to reach certain locations such as remote venues</p>	<p>#6</p> 	<p>Only carry out the activities submitted in your Activity Plan, at places on the list of permitted destinations</p>

東京 2020 プレイブック（ルールブック）第3版 （2021年6月15日公表）

●東京オリンピック・パラリンピック競技大会

日本では、いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。オリンピックは7月23日（金）から8月8日（日）まで、パラリンピックは8月24日（火）から9月5日（日）までの予定です。

全ての大会参加者と日本国民の双方にとって安全で安心な大会を実現するために、関係者はコロナ対策を徹底しています。6月15日、東京2020組織委員会はIOC、IPC、東京2020大会において参加者が遵守すべきコロナ対策上のルールを取りまとめたプレイブック（ルールブック）の第3版を公表しました。6月21日には、IOC、IPC、東京2020組織委員会、東京都、日本政府の五者は、観客数の上限や、各種措置が発動された場合の対応方針に合意しました。その後も日本では厳しいコロナ対策に日々取り組み、ワクチン接種も進んでいます。

豪州からは、一番乗りした女子ソフトボールチームをはじめ、472名からなるオリンピック選手団が続々と日本入りしています。女性は252名、先住民は16名とそれぞれ史上最多とのことで、今月下旬からの活躍を楽しみにしています。



第9回太平洋・島サミット（PALM9）
（2021年7月2日、内閣広報室）

●ワクチン・サミットと太平洋・島サミット

日本は、目の前のオリンピックに向けて国内のコロナ対策を加速しているのみならず、世界のコロナ対策にも全力で貢献しています。6月2日、日本と Gavi の共催で COVAX ワクチン・サミット（AMC 増資首脳会合）がオンライン形式で開催されました。菅総理とバローゾ Gavi 理事会議長が共同議長を務め、茂木外務大臣が進行役を務めました。豪州を含め各国政府及び民間セクターから多くの追加資金拠出が表明され、対象途上国の人口約 30%相当のワクチンを確保する資金調達目標（83 億ドル）を大きく超える額を確保することができました。

その後、G7 コーンウォール・サミットやその場での日豪首脳会談を経て、7月2日、テレビ会議方式により、菅総理とナタノ・ツバル首相の共同議長の下、第9回太平洋・島サミット（PALM9）がオンライン形式で開催されました。重点5分野の一つとして「新型コロナへの対応と回復」が取り上げられ、菅総理からは、コールドチェーン整備のための機材供与・技術協力のほか、太平洋島嶼国に対して、年内に合計 300 万回分を目処として COVAX 等を通じてワクチンを供与することを表明し、太平洋島嶼国から謝意が表明されました。



Japanaroo 2021 キービジュアル
(2021年7月1日公表)

●Japanaroo 2021 のウェブサイト立ち上げ

ここシドニーでは、東京オリンピック・パラリンピックで日本への関心が高まる機会を捉え、8月下旬に Japanaroo 2021 を開催するための準備が着実に進んでいます。

7月1日、Japanaroo 2021 のウェブサイトが立ち上がり、多数の日豪関係団体によるイベントの案内が始まりました。山上駐豪大使とベレジクリアン NSW 州首相もメッセージを寄せています。

昨年来、新型コロナウイルスの影響で、国境を超えての往来は困難な状況にあります。しかし、豪州には大きな日本人コミュニティがあり、オンラインのツールも活用できるので、『日本を豪州に持ってくる』ことが可能です。

Japanaroo 2021 を契機に、日本の豪州における幅広い貢献や日豪交流の重要性を、より多くの人たちに知っていただければ幸いです。それにより、日豪間の往来が再開した後に、日豪間の交流やビジネスが飛躍的に発展するよう心から願っています。



シドニー湾の夜明け
(2021年7月8日)

●コロナ後の世界に向けての日豪の役割

豪州も日本も、東京オリンピック・パラリンピックやワクチン接種の加速、国際的な往来の再開に向けて、今が正念場です。日豪両国の将来の発展のためには、国内のみならず世界で新型コロナ対策が進むことも重要です。そのために、両国は緊密に連携し、取組を進めています。

今回のシドニーでのデルタ株ウイルスの市中感染拡大で、私たち一人一人が、コミュニティの安心と安全、経済の再開と発展のために、しっかりと規制を遵守することの重要性を改めて認識しました。そして、来月にはシドニーを中心にJapanaroo 2021が開催されます。これからも、一人一人の努力と活躍を後押しすることで、日豪両国、そして世界の発展に貢献していきたいと思えます。

コロナ対策移行国家計画報道発表英文（豪州首相府 HP）・和文概要（当館 HP）
<https://www.pm.gov.au/media/national-cabinet-statement-6>
<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20210705aug.pdf>

NSW 州と北部準州の新型コロナウイルス関連情報（英語）
<https://www.nsw.gov.au/covid-19>
<https://coronavirus.nt.gov.au/>

NSW 州と北部準州でのコロナワクチン接種に関する領事メール
<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20210705vac.pdf>
<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20210706vac.pdf>

東京 2020 大会のコロナ対策
<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/news/road-to-t2020>

豪州のオリンピック選手団決定（2021 年 7 月 5 日）（英語）
<https://olympics.com/tokyo-2020/en/news/australia-break-records-with-472-member-team-for-tokyo-2020-games>

COVAX ワクチン・サミット（AMC 増資首脳会合）（2021 年 6 月 2 日）の結果概要
https://www.mofa.go.jp/mofaj/page1_000979.html

第 9 回太平洋・島サミット（PALM9）（2021 年 7 月 2 日）の結果概要
https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/ocn/page3_003070.html

Japanaroo 2021 ウェブサイトとソーシャルメディア
<https://japanaroo.com/>
<https://www.facebook.com/Japanaroo/>
<https://www.instagram.com/japanaroo/>
https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Japanaroo.html

（以上）